

プリンセスカップ

2歳牝・ダート1400m M1

10月26日（日）盛岡競馬場

昨年の優勝馬・エイシンナデシコ



GDJ2025／JRA認定競走／サンケイスポーツ杯

第41回 プリンセスカップ（M1）

盛岡競馬場／2歳牝・地方競馬全国交流・ダート1400m

10月26日（日）第11競走 17：35発走

1984年に新設されたプリンセスカップは当初は旧3歳牝馬の特別競走として実施。第1回は旧盛岡競馬場のダート1100mという条件でした。その後は盛岡・水沢で開催地を変えつつ、また東北3場交流の特別戦として行われた時期も経て2012年にGRANDAME-JAPAN2歳シーズンの一戦として地方競馬全国交流になると同時に2歳牝馬の重賞に格上げ。以降は晩秋～初冬の時期に行われる熱い戦いとなっています。

■ゴールデンリング(牝2 門別・角川秀樹厩舎)



提供：ホッカイドウ競馬

今年の門別2歳戦線は牡馬ではベストグリーンが、牝馬ではリュウノフライトが抜け出している印象だがそれを追うグループは牡牝ともにレースの度に着順が入れ替わると言っている混戦。それは逆に見れば本馬もここで力の差はないという事になるだろう。勝ち星こそひとつだが重賞や上級認定での走りを見るかぎり勝機を掴んで不思議はない。本馬の母チェゴも門別で新馬勝ちののち笠松で重賞2勝を挙げた。そんな母に肩を並べる一戦に。

「ここまで1200mまでの経験なので距離が伸びてどうかですが、盛岡の軽い砂なら対応してくれるのでは。勝った後ちょっと伸び悩んでいる印象もありますが素質は通用すると思っています。（角川秀樹調教師）」

■コンバットスネル(牝2 水沢・三野宮通厩舎)



二度目の重賞挑戦だった前走・ネクストスター盛岡は6着。掲示板確保には僅かに及ばなかったがこれまでよりも大きく差を詰めてきた点、例えば三走前に2.2秒も離されたラブコラージュに0.9秒差まで近づいたのは評価できるものだ。今回も“出走馬中唯一の未勝利馬”という立ち位置は変わらないが、前走で掴んだ手応えを武器にさらに前進を狙う。

「間隔は詰まっていますが状態は変わりないですね。前走はよく頑張ってくれましたが、やはり水沢の方が合いそうな印象です。（三野宮通調教師）」

■デンコウセッカ(牝2 盛岡・櫻田浩樹厩舎)



デビューは盛岡芝1000m、今季行われた唯一の芝の新馬戦を勝っている貴重な存在。それだけに適性はやはり芝の方で高そうと、それは前走の結果を見てもそう感じる部分。しかしデビュー3戦目の芝のJRA認定競走では必ずしも得意とは言えないマイルながらも重賞上位クラスを相手に3着を確保しており、秘めた素質は決して侮れないものはずだ。前走と同じダート1400mで違う競馬を見せる事ができるか注目。

「2歳の芝レースがなくなったタイミングでひと息入れました。距離は折り合い次第。ダートも決して悪くないですがやはり芝の方が良いのかな。（櫻田浩樹調教師）」

■トリストティ(牝2 門別・田中淳司厩舎)



提供:ホッカイドウ競馬

門別でのデビューは7月だったがじっくり育てたい馬が遅めのデビューを選ぶのは近年珍しくは無いこと。本馬もデビュー勝ちを収め3戦目の前走ではJRA札幌でのクローバー賞で3着と順調に成長のステップを踏んできている。母は米のオールウェザー馬場でGI・GII・GIIIを1勝ずつの実績馬。本馬のきょうだいはいずれもダートで勝ち上がっており、芝からダート替わりになる点も不安は無いはずだ。

「前走後少し間隔が開きましたが調整は順調。丈夫な子なのでね。1200mで勝ちましたがちょっと忙しい。今回くらいの距離の方が良いと思います。（田中淳司調教師）」

■スルーザミル(牝2 門別・川島洋人厩舎)



提供:ホッカイドウ競馬

ここまで重賞に三度挑戦しているのは出走馬中でセイクリスティーナと並び、遠征馬の中では最も多いもの。そこでの着順はリリーカップでの3着が最高だが、“リュウノフライトを追うグループ”の中では大きな差はないだろう…ということは既に記した通り。惜しいのは鞍上が定まらないことでここまでも、そして今回もまた初騎乗という事になる。川島師もそこを懸念されるが、うまく力を引き出してくれるなら勝機まで。

「新馬戦の後はちょっと思い通りの競馬ができずにいますが枠順や展開が合わなかったもので度外視できる。まだまだ上積みがある馬だと思っていますよ。（川島洋人調教師）」

■セイクリスティーナ(牝2 水沢・佐々木由則厩舎)



デビュー戦・2戦目はダートで、芝の若鮎賞ではそこが懸念されたが問題無く完勝。ジュニアGPで遠征勢を撃破、そして前走の若駒賞、ダートマイルになってもなお強さを増す勢いで勝ち切ってこれで重賞3連勝、地元では自他共に認める世代上位の存在となった。前走後はいったん短期放牧に出してリフレッシュ、直前は若駒賞でしのぎを削った僚馬ジェイエールビットと共に調整して態勢は整った。ここでも岩手のタイトルを守る。

「前走後ひと息入れた分で若干今までと違う臨戦過程になりましたが直前の調整で態勢は整いました。力は出せる状態です。（佐々木由則調教師）」

■フォーエバートライ(牝2 盛岡・永田幸宏厩舎)



前走のネクストスター盛岡、「レース中の折り合いが課題だが、それが大丈夫なら良い競馬もできる」が永田調教師の戦前の評価だった。レースでは先行集団に加わりつつ折り合って5着を守り切ったのだから前走時点での課題はクリアできたと言えるだろう。何より重賞の舞台で近走の中では最も勝ち馬との差を縮める形になったのだから進歩は上々。強力遠征勢も相手に加わった今回だが、ここでもう一歩前進を視野に入れている。

「これまで“普通の競馬”がなかなかできなかったのがそれができた前走は進歩が見えました。相手が強いですがつけいる隙を求めて戦いたいですね。（永田幸宏調教師）」

■サラサチャレンジ(牝2 川崎・佐々木仁厩舎)



提供:神奈川県川崎競馬組合

地元川崎では3戦1勝の戦績だが新馬戦を含めいずれも好タイム・好内容。その地力が全国に通用するのは園田プリンセスカップ2着、金沢シンデレラカップ4着で証明した。結果的には兵庫のココキュンキュンが強かったという事になったがこちらはいずれも長駆遠征してなおかつアウェーでの競馬、着順が力の差と言うのはまだ早いはず。本馬の目標はGDJ2歳シーズンの女王。ここでしっかりポイントを積み重ねたいところ。

「遠征の疲れもなく順調です。ここまで距離にも対応できていますし、輸送して体重が減らないのも強み。この先に向けても良い競馬を期待しています。（佐々木仁調教師）」

■フェアリーライズ(牝2 門別・角川秀樹厩舎)



提供:ホッカイドウ競馬

能力検査は一番最初の3月13日に通過した本馬だったがデビューは8月28日に。門別での今季最後のフレッシュチャレンジ競走、いわばラストチャンスをしっかり手にすることができたのは本馬の素質の高さゆえと判断できる。2戦目の2歳オープンでも、出走経験がはるかに多い馬たちの中で3着を確保したのがその裏付けだ。能検時408kgの馬体重は5ヶ月を経たデビュー時には448kgに。その数字の差が本馬の成長分という事になるはず。

「デビューは遅くなりましたがしっかり勝ってくれました。前走も1000mで後方から凄い脚を使っている。うまくハマればここでも…と思って挑みます。（角川秀樹調教師）」

■ヴァリュアブル(牝2 水沢・伊藤和忍厩舎)



デビューした門別では3戦して5着が最高だったが岩手に移籍した前走が2着に9馬身差を付ける圧勝。まさに一変した結果を「小柄な馬なので門別の力がある砂は合わなかったのでしょうか」と伊藤和忍師は評価する。実際、前走時の馬体重354kgは今季の岩手競馬での出走馬の中で最小だった。そんな馬体でも盛岡の坂をしっかり駆け上がったのだから勝負根性はなかなかのもの。大幅相手強化の重賞だがこの身体を目一杯使い切る。

「ちょっとピリピリしたところがある馬で来た当初も飼料を食べなかった。その分での前走の馬体減かと思います。調整は順調ですが馬体重はちょっと心配。（伊藤和忍調教師）」

■ウィルラウス(牝2 門別・小国博行厩舎)



本馬も3月13日の能検で合格した組。その時のタイムがソコソコと見られたかデビュー戦では9番人気の評価に留まったが終わってみれば勝ち馬からアタマ・クビ差の3着、その勝ち馬はのちに兵庫に移籍して兵庫ジュベナイルカップを勝ったエイシンイワハシルだったのだから今にして思えばレベルが高かった。重賞では前走の6着が最高だがここで差はないのは他の門別勢と同じ立ち位置だ。タイトルを手にするチャンスは十分にある。

「前走はマイルでしたが今回くらいの距離がむしろ合うのでは。前に付けなければいけない馬でもないのだから問題無いと思います。（小国博行調教師）」

■トリップス(牝2 門別・小野望厩舎)



提供：ホッカイドウ競馬

この馬も3月13日の能力検査組だがその時のタイム50秒3は当日合格した178頭の2歳馬の中でも優秀なもので、その頃からスピード性能の片鱗を感じさせていた。デビュー戦を問題無く勝ち上がると重賞リリーカップでも4着確保。JRA遠征のすずらん賞でこそ11着に終わったが地元戦では4着以下がなく、成績の安定感は遠征馬中でも上位と言えるだろう。ここは大外枠克服がカギになったがスピード活きる馬場を味方に乗り切ってみせる。

「夏頃までは距離がちょっと気になって短い距離を選んでいたのですが、今は馬がしっかりしてきて気にならなくなった。前で流れに乗る競馬ができれば。（小野望調教師）」

文・写真／横川典視

写真協力／ホッカイドウ競馬・神奈川県川崎競馬組合